

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 1 年度分

## 1 事業所の概要

事 業 者 の 名 称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事 業 所 の 名 称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事 業 所 の 所 在 地	宮城県仙台市宮城野区港2-2-1		
主 た る 事 業	飲料・たばこ・飼料製造業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	キリングループのSBT達成に向けた施策の推進し、キリングループ全体で、2030年で2015年比-30%のGHG排出量削減に努める。 【方針】 ・再生可能エネルギーの導入。 ・省エネルギーによる原単位対前年 1%削減		

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	10,020 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	59.04
	目標年度	2025 年度	目標排出量	8,757 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	51.6
			削減率	12.60 %	削減率	12.60 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	65.00 %	その他非化石エネルギー等	35.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	15,645 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	87.4
			削減率	-56.14 %	削減率	-48.04 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	100.00 %	その他非化石エネルギー等	3.37 %
	排出量等の増減理由	バイオガス前処理設備故障しバイオガス328183m <sup>3</sup> （5251t-CO <sub>2</sub> 相当）をコージェネ燃料に使用できず大気放出したため排出量が増加した。また、製造量10千KLのため590t-CO <sub>2</sub> 相当の排出量が増加した。				
	第2年度	2024 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	82 %	目標年度	82 %
	第1年度	82 %	実施状況の説明等	特になし
	第2年度	%	実施状況の説明等	
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	蒸気トラップの管理	実施済
	再生可能エネルギーの導入	実施済
	デマンド管理	実施済
	生産性管理	実施済

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	1999年1月ISO14001認証取得	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【会社全体】 ・ 2017年3月 国内外のキリングループ温室効果ガス（以下、GHG） 中期削減目標がSBTより承認 ・ 2020年11月 キリンホールディングス RE100へ加盟	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	2020年コロナ禍以降在宅勤務の推進	実施済
	廃棄物削減対策の実施	1998年1月より廃棄物再資源化率100%継続	実施済
	森林の保全・緑化の推進	2001年より水源の森活動(川崎町)実施、2013年より三陸沿岸松林植樹活動実施	実施済
	グリーン調達の実施	1999年キリンビール「グリーン調達基本方針」制定後継続	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	・ 2006年ボイラー燃料転換：重油から天然ガスへ転換 ・ 2006年バイオガスエンジン導入：嫌気排水処理設備から発生するバイオガス（主成分：メタン）を主燃料として使用	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	2016～2017年 温室効果ガス削減アクションプログラム モデル事業	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	バイオガスボイラの導入。排水処理場から発生するバイオガス（主成分：メタン）の削減	未実施